

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ (ECB <欧州中央銀行> 理事会)

2020/1/24

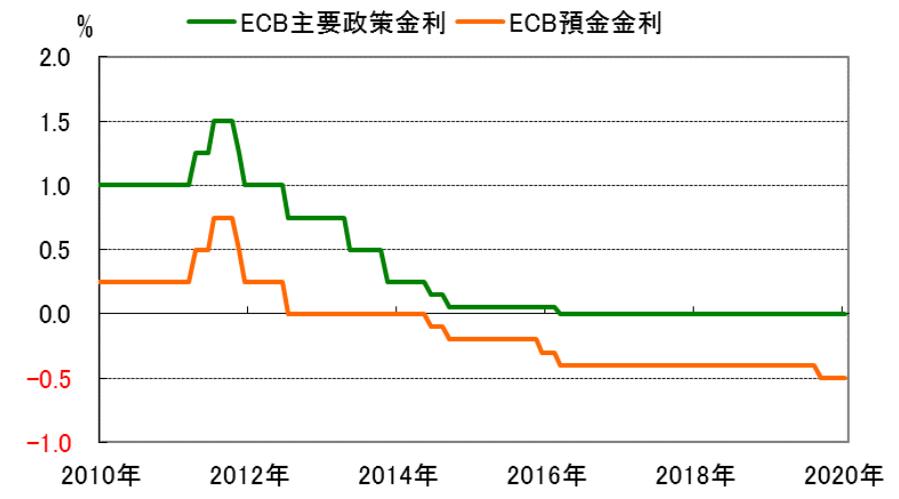
りそなホールディングス 市場企画部

概況

- ◆ 金融政策は据え置き
- ◆ 前回発表していた金融政策の「戦略的見直し」について、検討事項を公表

- ✓ 1月23日に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会では、**中銀預金金利は▲0.50%、主要リファイナンス金利は0.00%、中銀貸出金利は0.25%で据え置き。**
- ✓ 2019年11月に再開した量的緩和政策についても、**月200億ユーロの買取ペースを維持。**
- ✓ フォワードガイダンス（将来の金融政策方針）について、「**インフレ目標の実現がしっかりと見通せるまで**」を据え置き。**満期を迎えた債券の償還金に関して、長期間の再投資を継続。**
- ✓ 前回会合で発表していた金融政策の「戦略的見直し」について、今会合後書面にて公表。主な検討事項について、「**物価安定の数値的定義**」、「**金融政策ツール**」、「**経済及び金融分析**」、「**コミュニケーションの方法**」になるとし、完了の目途を2020年末までとした。
- ✓ ラガルド総裁は、ユーロ圏の成長率見通しについて、引き続き下方への傾きがあるとしつつも、米中の第1段階合意を受け国際貿易を巡る不確実性は以前より低下しているとした。
- ✓ 金融政策据え置きは市場予想通りも、「戦略的見直し」についてラガルド総裁が詳しい言及を避けたことで、一部で引き締めの示唆を期待していた向きもあり金利は低下、ユーロは下落した。

【ECB政策金利と預金金利】



【ECBスタッフ見通し（12月時点）】

	2019年	2020年	2021年	2022年
実質GDP成長率	+1.2	+1.1	+1.4	+1.4
9月時点の見通し	+1.1	+1.2	+1.4	-
HICP(消費者物価)	+1.2	+1.1	+1.4	+1.6
9月時点の見通し	+1.2	+1.0	+1.5	-

前年比、%

【出所】ECB、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。